

生命と非生命： メディアアートの視座から

東京パブリッシングハウスでの展覧会「児玉幸子 眩惑について -On Dazzling-」に合わせて、関連シンポジウムを開催いたします。ゲストに美学者の吉岡洋氏、バイオメディア・アーティストの岩崎秀雄氏をお迎えし、作品について、また生命と非生命について語り合います。

トーク | 児玉幸子 (メディア・アーティスト / 電気通信大学)

吉岡洋 (京都大学こころの未来研究センター)

岩崎秀雄 (バイオメディア・アーティスト / 早稲田大学)

モデレーター | 加藤有希子 (埼玉大学)

日時 | 11月2日(土) 13:30-15:30 [13:00 開場]

会場 | 横田茂ギャラリー

共催 | 埼玉大学、Japan Cultural Research Institute

※本シンポジウムは、埼玉大学が受託する課題設定による先導的人文学社会学推進事業「観客と共創する芸術—光・音・身体—の社会的・芸術学的・工学的研究」(日本学術振興会)により実施いたします。当日の様子は、記録・研究目的のために撮影させていただきますので、ご了承ください。

参加方法 | 要申し込み (定員 40 名)

どなたでもご参加いただけます。ご希望の方は、下記までお名前とご連絡先をお知らせください。

特定非営利活動法人

Japan Cultural Research Institute

Tel : 03 3433 1389

Email : info@jcritokyo.org

Life and Non-Life:
Approach from New Media Art